第３章　許可申請書等の記入例

火薬類譲渡許可申請書

申 請 者　火薬類を譲り渡そうとする者※。
※者とは、個人（自然人）であるか、法人であるかを問わない。（「火薬類取締法令の解説」参考）

申 請 先　譲り渡そうとする者の住所地を管轄する消防署※（安芸太田出張所含む。）であるが、申請者から委任を受けている場合は、受任者の現場事務所（支店、営業所等を含む。）所在地を管轄する消防署となる。（「火薬類取締法事務処理要領」参考）
※残火薬類による譲り渡しの場合、譲り渡そうとする者の住所地を管轄する消防署とは、通常、当該火薬類の消費許可（譲受消費許可含む。）をした消防署となる。

譲渡期間　有効期間は、規程第５条（火薬類の許可手続）第６項により、１ヶ月以内とする。

記入例

様式 C-1

火薬類譲渡許可申請書

令和○○年○○月○○日

広島市消防局長　様

（代表者）広島市○○区○○町○丁目○番○号
株式会社○○企画
氏名　代表取締役社長　○○　○○

名　　称		株式会社○○企画
事務所所在地（電話）		広島市○○区○○町○丁目○番○号（TEL○○○-○○○-○○○○）
職　　業		土木建築業
（代表者）住　所 氏　名 （年　齢）		広島市○○区○○町○丁目○番○号 ○○　○○ （○○歳）
火薬類の種類及び数量		爆薬　１０kg 電気雷管　１０個
譲　渡　目　的		残火薬類の処分 譲受消費許可番号　広島市指令消指第○号 許可日　令和○○年○○月○○日
譲　渡　期　間 （１ヶ月を超えないこと）		自　令和○○年○○月○○日 至　令和○○年○○月○○日
譲渡火薬類の所在場所		広島市○○区○○町○丁目○番○号 有限会社○○所有地上式一級火薬庫
譲渡の相手方	住　所	広島市○○区○○町○丁目○番○号
	氏　名	有限会社○○

注　この用紙の大きさは、日本産業規格A列４とする。

・申請者は、法人の場合は代表権のある者（代表取締役等）、個人の場合は本人とする。
・法人の場合で、代表者以外（支店長、所長及び現場代理者等）が申請するときは、委任状の添付が必要である。委任する場合の記入は 13、14P を参考とする。

名称は、法人の場合は登記簿上の法人名（会社名）を、個人の場合は氏名を記入する。

事務所所在地は、法人の場合は本社所在地、個人の場合は住民票がある場所を記入する。

住所は、申請者の住民票がある場所を記入する。ただし、法人の場合は本社所在地でもよい。

・職業は、申請が会社等の場合は産業分類による事業名を、個人の場合は職業を記入する。
例）採石業、土木建設業等
・職業が建設業等の場合で、建設業法等に基づく登録を受けているときは、欄右側に登録番号を併せて記入する。

1　火薬類譲渡許可申請

記入例

様式 C-1

火薬類譲渡許可申請書

令和○○年○○月○○日

広島市消防局長　様

（代表者）広島市○○区○○町○丁目○番○号
株式会社○○企画
氏名　代表取締役社長　○○　○○

名称		株式会社○○企画
事務所所在地（電話）		広島市○○区○○町○丁目○番○号（TEL○○○-○○○-○○○○）
職業		土木建築業
（代表者）	住所	広島市○○区○○町○丁目○番○号
	氏名	○○　○○
	（年齢）	（○○歳）
火薬類の種類及び数量		爆薬　１０kg 電気雷管　１０個
譲渡目的		残火薬類の処分 譲受消費許可番号　広島市指令消指第○号 許可日　令和○○年○○月○○日
譲渡期間（1ヶ月を超えないこと）		自　令和○○年○○月○○日 至　令和○○年○○月○○日
譲渡火薬類の所在場所		広島市○○区○○町○丁目○番○号 有限会社○○所有地上式一級火薬庫
譲渡の相手方	住所	広島市○○区○○町○丁目○番○号
	氏名	有限会社○○

注　この用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。

住所は、申請者の住民票がある場所を記入する。ただし、法人の場合は本社所在地でもよい。

当該火薬類の譲受許可（譲受消費許可含む。）に伴う許可番号及び許可年月日を併せて記入する。

譲渡期間を許可日からとする場合は、次の例による。
例 1）日付を空欄にして「許可日から 1 ヶ月」と記入する。
例 2）自の日付を空欄にして「許可日から」と記入し、至の日付に予定する譲渡終了年月日を記入する。